

平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

1. 学校概要

学校名 安城市立東山中学校

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒460-0001
愛知県安城市里町東山1

E-mail higashiyama@anjo.ed.jp

Website http://www.anjo.ed.jp/~higashiyama/

児童生徒数 男子 420 名 女子 402 名 合計 822 名
児童・生徒の年齢 12 歳 ~ 15 歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

・ホタルの養殖場を見学

本年度、本校のビオトープの井戸が故障してしまったため、毎年地域の方々を行っているホタルの観賞会は実施することができませんでした。そこで、今年度は、ホタルの幼虫を提供して下さる角文（株）さんのホタル養殖場を見学し、ホタルについて詳しくお話を伺うことにしました。

事前に生徒たちが、どのようなことを学びたいか話し合いを行った結果、「学校の施設では卵からの飼育に成功したことがない。ホタルはどのような場所に産卵し、幼虫はどのように成長するのだろうか。」「学校の施設と角文さんの施設には、どのような違いがあるのだろうか。」といった疑問が挙げられました。

生徒たちの予想では、「角文さんは、自然をより忠実に再現したビオトープで飼育されているのではないかと、より自然に近い環境が、ホタルの飼育に適していると考えました。

7月に角文さんを訪問しました。ホタルの養殖場は、本社から少し離れた旧社宅にありました。中は空調で温度管理がされており、年中一定の気温が保たれているそうです。生徒たちは、人工的な環境で飼育されていることに大変驚いていました。幼虫はたらいに集められ、食べやすくふたを取り除いた貝が与えられていました。数回脱皮をして大きく育った幼虫は、さなぎになるための上陸セットに移され、成虫となります。私たち各学校に寄付されている幼虫は、さなぎになる直前まで大きく育った幼虫だということも教えていただきました。

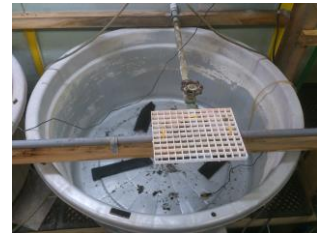
お話を伺った生徒は、「自然環境では、孵化直後の幼虫が一番死んでしまいやすいので、育ちやすい環境を準備してやるのが大切だということがわかった。」「ひとつのたらいで二千匹以上の幼虫が飼育されているなんて驚いた。」「ここまでの環境を整えることは、学校ではできない。卵から育てることは無理なのだろうか。」といった感想が聞かれました。

角文さんからは、「卵から幼虫を育てるのはとても難しい。これからも幼虫を寄付するので、卵から幼虫まではまかせてください。」と言っていました。

その後、角文さん本社敷地内にあるビオトープを見学させていただきました。



角文さんの飼育施設



ひとつのたらいの中には二千匹以上の幼虫が飼育されています。



食事中の幼虫



産卵された水台



上陸セット



角文さんのビオトープ

・猿渡川と鹿乗川神田排水路の生物調査を実施

夏休みに、学区を流れる猿渡川と、鹿乗川神田排水路の生物調査を実施しました。本年度は、昨年度までよりも部員数が増えたため、多くの種を見ることができました。

猿渡川では、ヤゴ、ドブシジミ、ヨシノボリ、ユスリカの幼虫、カマツカ、メダカ、マゴイ、ヌマエビ、ナマズ、コオイムシなどを捕獲することができました。

神田排水路では、猿渡川でも見られたヤゴ、ドブシジミ、ヨシノボリ、カマツカ、メダカ、マゴイ、ヌマエビの他にも、ギンブナ、モツゴ、カワムツ、カワバタモロコ、ドジョウも捕獲することができました。神田排水路で見られたカワバタモロコは、安城市内では見られなくなってしまった魚です。それが安城市内で捕獲されたとなれば大きな発見です。生徒たちの考察では、「神田排水路は下流で矢作川と合流する。岡崎市内ではカワバタモロコが生息している。神田排水路のカワバタモロコは、矢作川に生息していたものがのぼってきたのではないか。」との結論に至りました。来年度以降、継続して調査をしていきたいと考えています。

他にも、神田排水路に隣接する水田の水をくみ取り、顕微鏡で観察しました。ミジンコなどが観察できました。

来年度への課題としては、教員と生徒だけでは、種の同定が正確に行えないという点を挙げる事ができます。外部の方々と連携し、効率の良い生物調査の方法や、種の同定方法を学んでいきたいと考えています。



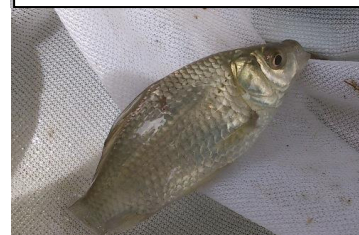
ドジョウ



ナマズ



カワムツ



ギンブナ



カワバタモロコ



メダカ



モツゴ



微生物観察の様子



神田排水路での調査の様子



ミジンコ



ミジンコ

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）